

(別紙)

あおり高齢者すこやか自立プラン2024（原案）に寄せられた意見等とそれに対する県の考え方（案）

※いただいた意見等は原文のまま掲載しています。

NO	意見等	意見等に対する県の考え方	提出意見等の反映状況
1	<p>認知症ピアサポーターの制度は認知症の人本人にも希望を持たせるもので、且つ、認知症問題に現に悩んでいる本人、家族、これから認知症問題の当事者になり得る一般県民に対する啓発という視点でも大変有意義なものであると思います。</p> <p>特に、働き盛りに罹患した認知症の方は、認知症そのものの問題だけではなく、家族の収入が断たれて、子どもの進学等にも影響するので、十分に支援制度の周知や支援そのものの充実も検討していただきたいと思います。</p>	<p>4 認知症の人が尊厳と希望を持って暮らせる環境づくり（2）正しい知識の普及啓発において、認知症に関する相談窓口の周知や認知症に関する情報の発信に取り組むこととしています。</p>	記述済み

あおり高齢者すこやか自立プラン2024（原案）に寄せられた意見等とそれに対する県の考え方（案）

※いただいた意見等は原文のまま掲載しています。

NO	意見等	意見等に対する県の考え方	提出意見等の反映状況
2	<p>3支え合いとともに生きる地域づくり（2）介護に取り組む家族等への支援について具体的施策に 「●各市町村で実施するヤングケアラー支援に関する取組を支援します。」 とあります。</p> <p>この取組自体には賛成ですが、ヤングケアラー自身が「不幸な人」「かわいそうな人」という切り口で語られることが多くなっていることに危惧を抱いています。</p> <p>そもそも、家族が家族を支えることは尊いことであり、不幸を被っているわけではありません。ただ、それが過剰な負担となり、勉学や生活に影響を及ぼしている場合には、その負担を軽減し、普通の生活ができるように周囲が支援してあげることがヤングケアラー支援で、国でも当初はそのようなニュアンスでPRされていたと理解しています。</p> <p>そこで、各市町村で実施するヤングケアラー支援にあたっては「家族の介護や支援などやらなくてもいい」という視点ではなく、まず、素晴らしいことをしているねと認めつつ、過剰な負担がある場合は支援を受けられるような啓発活動が行えるような取り組み内容で、県は支援をしていただきたいと思います。</p>	<p>3支え合いとともに生きる地域づくり（2）介護に取り組む家族等への支援の現状と課題の部分に「重い責任や負担を家族や子ども本人が自覚していない、自覚があっても他者に助けを求めることができないといった課題があります。」と記載しており、課題解消のための施策に今後取り組んでいきます。</p> <p>御意見については、今後施策を進めていくうえで、参考にさせていただきます。</p>	実施段階検討

あおもり高齢者すこやか自立プラン2024（原案）に寄せられた意見等とそれに対する県の考え方（案）

※いただいた意見等は原文のまま掲載しています。

NO	意見等	意見等に対する県の考え方	提出意見等の反映状況
3	<p>p43 高齢者の創業・起業を支援します。                      →創業・起業のスケール感にもよりますが、事業継承・廃業への対策、支援の内容が気になります。                      急にお亡くなりになる場合や、急な体調不良により続けられない場合もあると考えます。</p>	<p>県では、従来からの後継者不足の状況と急激な社会情勢の変化が重なることで、経営者が事業承継を検討せずに事業継続を断念することのないよう、関係機関と連携し、相談窓口である「青森県事業承継・引継ぎ支援センター」の周知を行い、早めの準備を呼びかけています。                      また、事業承継は、事業所ごとの状況や課題に応じた専門的な支援が必要となることから、商工団体や金融機関等と連携し、「青森県事業承継ネットワーク」を設立してそれぞれの強みを生かした支援を行っています。</p>	<p>その他</p>

あおもり高齢者すこやか自立プラン2024（原案）に寄せられた意見等とそれに対する県の考え方（案）

※いただいた意見等は原文のまま掲載しています。

NO	意見等	意見等に対する県の考え方	提出意見等の反映状況
4	<p>p85（3）在宅で生ききるためのケアの拡充</p> <p>1点目、施策の方向性へ「～在宅医療提供体制を構築します。」 「～適切な連携体制を構築します。」とあり、具体的施策へ「～医療提供体制を強化します。」「～担い手育成を支援します。」と記載があります。体制の変化が必要となると、「業務が増えるのでは」と考えてしまいます。1人材当たりの業務負担が大きい尚且つ人手不足の組織からすると、少々不安な点もあるのではないのでしょうか。ぜひ、各組織が足並みをそろえられるようご支援いただければと思います。2点目、多職種が協働・連携するとなった場合、IT基盤が欠かせないのかなと考えます。本プランにおいてITツール導入支援やセキュリティに関する支援などはあるのでしょうか。</p>	<p>在宅医療の推進については、多職種協働による包括的かつ継続的な医療提供体制の構築を図ることとしており、関係機関間の情報共有を促進し、連携を密にして取り組みます。</p> <p>御意見については、今後施策を進めていくうえで、参考にさせていただきます。</p>	<p>実施段階検討</p>

あおり高齢者すこやか自立プラン2024（原案）に寄せられた意見等とそれに対する県の考え方（案）

※いただいた意見等は原文のまま掲載しています。

NO	意見等	意見等に対する県の考え方	提出意見等の反映状況
5	<p>プランを一読させていただいた際に、考えたことを記します。プランへの意見ではありません。</p> <p>各機関、いろいろな方面で急激な変化への対応が求められていると思います。その中で、これまでの"やり方"を踏襲することに意思決定を促す方々がいることは事実であるはずですが。そのお気持ちは、誰もがわかるのかなと思います。ただ、次へ次へ変化する時代に、遅れをとりたくないなとも思います。変化し続けられる組織となれるよう何か策はないでしょうか。例えば、「(県全体の規模感で)同業種間でのナレッジを共有する仕組みを作る」「スキルを持つ人材の県内での雇用形態を柔軟にする。県内において、スキル共有の促進を目指す」など。</p> <p>難しいことであることは承知しております。</p>	<p>人口構造が変化し、将来の予測が困難な時代にあっても、人口減少に伴う様々な課題を乗り越え、高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせる持続可能な地域社会を実現するための施策に取り組んでいきます。</p>	<p>その他</p>

「文章修正等」：本文の修正、既述の追加等意見を反映させるもの。

「記述済み」：既に記述済みのもの。

「実施段階検討」：計画の実施段階で検討又は対応すべきもの。

「反映困難」：反映が困難なもの

「その他」：質問や感想。計画以外への意見。